

開催概要

- 開催日時

2014年5月15日(水)午後3時から6時まで

- 開催場所

- 東京

オートデスク株式会社 本社

東京都中央区晴海1-8-10 晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーX 24F

- 大阪サテライト

大阪市立大学大学院 創造都市研究科 梅田サテライト

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階 104教室

- オンライン

- リアルタイム議事録: GoogleDocs

- 清書はOSGeo.JPWikiに後日公開します。

- 動画配信:

- Ustream(<http://www.ustream.tv/channel/osgeo-jp-backup>)

- 参加人数および議決数の確認

「総会は議決権数の過半数以上の出席で成立し、その議事は出席(委任状含む)議決権数の過半数で成立」→出席+委任状出席議決権総数 210 →成立

出席議決権数 173

- 団体会員3口(30)×4社=120
- 団体会員1口(10)×3社=30
- 個人・学生会員(1)×13(東京)+9(大阪)+1(オンライン)=23

委任状議決権数 37

- 団体会員1口(10)×3社(カーネル、五大開発、デジタル北海道)=30
- 個人・学生会員(1)×7=7

議決権総数 276 (成立は138)

- 団体会員3口(30)×4=120
- 団体会員1口(10)×7=70
- 個人・学生会員×(1)×86=86

- 役割

- 司会進行: 岩崎
- 議題報告: 森
- 書記: 大橋
- 配信: 山手

議題1 組織・規約

1. 役員・運営委員(2014年5月15日現在)

理事(5名)

森亮(支部代表者)
井上修(副代表:首都圏担当)
林博文(副代表:近畿圏担当)
古橋大地(FOSS4Gイベント担当)
Venkatesh Raghavan

監事(1名)

嘉山陽一

運営委員(25名)

青木和人、朝日孝輔、飯田哲、岩崎亘典、植田粹美、大橋正治、尾崎正志、鎌田高造、櫻井健一、邑楽泰彰、清野陽一、関治之、瀬戸寿一、田村賢哉、中川貴滋、長瀬興、西村雄一郎、縫村崇行、古川泰人、松浦慎平、谷内栄樹、山手規裕、吉田大介、若狭正生
※上記の方以外に、業務運営の理由から運営委員のメーリングリストに登録されている人もいます

2. 会員(2014年5月15日現在)

団体会員(3口)4社

- オートデスク株式会社
- 株式会社オークニー
- 北海道地図株式会社 ※2014年度から3口に
- マップコンシェルジュ株式会社

団体会員(1口)8社

- 株式会社カーネル
- 株式会社野村総合研究所
- 株式会社パイプデザイン
- 株式会社マピオン
- 合同会社Georepublic Japan ※New:2013年度途中より
- 五大開発株式会社
- 特定非営利活動法人Digital北海道研究会
- Pacific Spatial Solutions, LLC ※New:2014年度より

賛助会員 1社

- ESRIジャパン株式会社 ※New:2013年度途中より

個人会員および学生会員

- 合計86名(2012年度:74名)

- 個人会員73名
- 学生会員13名

3. 理事の改選

- 役員の任期は2年
- 本年は理事の改選年度

3.1. 対象理事

- 森亮
- 井上修
- 林博文
- 古橋大地
- Venkatesh Raghavan

3.2. 承認議決

- 2014年度、2015年度については上記5名体制とする

4. 規約の変更

規約: <http://www.osgeo.jp/about/osgeo財団日本支部%E3%80%80会員規約/>

4.1. 規約変更案

- 運営委員の明文化
 - 現規約には運営委員についての記載がないが、実務は運営委員会にて行われているのが現状
 - 位置づけの議論
 - 運営委員は第18条7
 - 理事会は運営委員会を別途設置することができるを追加
- 第12条 理事、監事は総会においてこれを選任し、理事は互選で代表1名、副代表1名を定める。
 - 副代表の数が現状と合っていない
 - 副代表1名以上と変更する

4.2. 承認議決

- 上記2項目の追加を可決した

議題2 2013年度活動・会計報告

1. 活動

1.1. イベント

i. 主催

2013年10月

- 10/31 FOSS4G2013 TOKYOハンズオン

2013年11月

- 11/1-2 FOSS4G2013 TOKYO
- 11/6 FOSS4G OSAKAハンズオン
- 11/7 FOSS4G OSAKA

2013年12月

- 12/18 OFF4GTokyo
- 12/18 OFF4GOsaka

ii. 後援・協賛・出展

2013年5月

- 5/21 FOSS4Gハンズオン @JpGU(地球惑星科学連合大会)
- 5/25 OSCクラウド@Osaka
- 5/31 QGISプレゼン @金沢工業大学

2013年6月

- 6/21-22 OSC名古屋

2013年7月

- 7/5-7/6 FOSS4G Hokkaido

2013年8月

- 8/2-3 OSC京都

2013年9月

- 9/6-9 哺乳類学会・霊長類学会ミニシンポ @岡山理科大学
- 9/14 OSC北海道
- 9/20 FOSS4G勉強会@札幌

2013年10月

- 10/19-20 OSC東京
- 10/26-27 地理情報システム学会 (←荒天のため中止になりました)

2013年11月

- 11/2 Code for Japan設立イベント @東京大学

- 11/8-9 K-OF @南港ATC
- 11/13-15 FOSS4G 2013 Korea
- 11/14-16 G空間EXPO2013 @日本科学未来館
- 11/30-12/1 FOSS4G函館(FOSS4G勉強会)

2014年2月

- 2/28-3/1 OSC2014 Tokyo/Spring

2014年3月

- 3/14 GIS勉強会共催
- 3/14 日本生態学会広島大会 自由集会

1.2. 総会・運営委員会

- 総会: 5/15
- 運営委員会: 9回開催
 - 4/26、6/11、7/18、8/19、9/11、10/4、11/26、1/16、3/4
 -

1.3. 広報・普及活動のために利用しているサービス

- HP
 - 目的: OSGeo公式のHP
 - URL: <http://www.osgeo.jp>
 - 備考: WordPress2.3.1にて編集。
 - 課題
 - WordPressのバージョンが古い
 - アップデートする際の人的リソースが足りていない
 - デザイン周りで進行が滞っている
 - githubでの更新もありでは？
 - 「OSGeo.JPホームページ上で団体会員のロゴバナーの設置」が現状実施されていない。
 - ロゴの大きさを決める
 - 各社のロゴを回収
 - Webにリンクされている入会案内も古いままですね。
- Wiki
 - 目的: プロジェクト内容などをまとめて公開したい場合に使用
 - URL: <http://wiki.osgeo.jp/>
 - HPからもリンクしている
 - 課題: 更新頻度が低いけどアクセスは高い
 - 不適切な投稿や編集が見受けられる
 - 松浦さんがメンテナンスを進行中
 - 誰でもアカウントは作れるので、まとまった情報はこちらを積極的に活用して下さい。

- 具体的にどのようなことを？
- 使用のルールを決めるべき？

iii. メーリングリスト

- 目的: 元々は会員の意見交換の場のため告知がメインではないが、イベント時開催時などは告知を行っている
- アカウント ※2014年5月8日現在(カッコ内は2013年5月11日)
 - discuss
 - ※購読者数: 524名(449)
 - MapGuide
 - ※購読者数: 136名(118)
 - announce
 - ※購読者数: 204名
 - GeoServer
 - ※購読者数: 133名(117)

iv. Facebook

- 目的: 広報・告知のため
- URL: <https://www.facebook.com/osgeojapan>
- いいね数: 147

v. Twitter

- 目的: 広報・告知のため
- アカウント
 - @OSGeoJP
 - 広報告知用
 - フォロワー数: 171
 - 更新がアクティブではない
 - @osgeojapan
 - 広報告知用(FBと連携)
 - フォロワー数: 107
 - @OSGeoNOW
 - FOSS4G関係のニュース配信のbot
 - HPで公開中
 - フォローすべき情報源を整理中
- ハッシュタグ
 - #foss4gj
 - イベント時のハッシュタグ
 - HPで公開中
- 課題
 - @OSGeoJPと@osgeojapanの使い分け
 - @OSGeoJPは放置する
 - @OSGeoNOWは現状特定のニュースソースに偏っている
 - Googleを外す方向で管理者が修正してください

vi. Ustream

- 目的: foss4gなどの配信のため
- アカウント: OSGeoJP
 - チャンネル
 - OSGeoJP
 - FOSS4G
 - molamola
- vii. slideshare→いわさがアップデートする。
 - 目的: 講演発表資料の公開用にアカウントを持っていない人のためのアカウント
 - URL:

http://www.slideshare.net/osgeojapan?utm_campaign=profiletracking&utm_medium=sssite&utm_source=ssslideview
- viii. Google Calendar(イベントカレンダー)
 - 目的: 会員向けのイベントカレンダー
 - URL:

<https://www.google.com/calendar/embed?src=vm5urikkrupgfj896nocipr80%40group.calendar.google.com&ctz=Asia/Tokyo>
 - 試験的にHPに埋め込み中

1.4. その他

- i. GIS教育認定(2014年2月24日)

認定 GIS 教育タイトル: FOSS4G に関する技術取得のための実習および研究・活用事例紹介

 - <http://www.gisa-japan.org/gisca/contents/link.html#edulink>
 - 主催か共催イベントで申請できるので活用ください
- ii. 団体会員勧誘資料を作成しました。ご活用下さい。
 - <https://docs.google.com/document/d/1YJcwacirxnumAUBWh3Zjip7VlrN38AkiPXJeJTfdnDg/edit?usp=sharing>
- iii. イベント時のストリーミング中継の機材にはこれまで会員の方の私物機材供出に頼っていたのですが、支部として備品を用意し、会員の活動のために貸し出せるようにしたほうが良いだろうとのことから、デジタルビデオカメラとUSB接続のビデオキャプチャボックスを購入しました。ご活用下さい。
 - 運用試験がうまく行っていないので使えるようにする
- iv.

2. 会計

2.1. 決算(収支)※期間: 2013/04～2014/03

i. 収入の部

	決算	当初予算
--	----	------

会費	1,552,875	1,380,000
物品販売	241,140	150,000
ハンズオン・講習会	160,000	400,000
受取利息・雑収入	579	0
収入合計	1,954,594	1,930,000

【所見】

- 合計ではおおむね当初予算どおり
- 会費: 会員増に伴う収入増加と物品販売により、農水講習会が無かった穴をカバーできた

ii. 支出の部

	決算	当初予算
イベント開催費	662,273	750,000
イベント会場費	0	150,000
旅費交通費(招聘費含)	313,124	200,000
事務局費	48,000	48,000(2年分)
活動支援費	228,000	300,000
広報費	31,500	200,000
サーバ代金その他	24,760	40,000
支出合計	1,307,657	1,688,000

【所見】

- 当初予算比: 約38万円マイナス
- イベント会場費が農環研の補助金により不要だった
- 旅費交通費はJeffの招聘、Hokkaidoへの支援、KOREAへの派遣などで当初より増えた
- 広報費がFOSS4G告知のGIS NEXTメルマガのみだった

iii. 収支

- 646,937円の黒字

2.2. 決算(資産)※2013/3/31現在

i. 資産の部

	決算
現金・預金	3,956,390
立替金	70,354
資産合計	4,026,744

ii. 負債の部

	決算
前受金・未払い金	0
負債合計	0

iii. 純資産の部

	決算
前期繰越金	3,379,807
当期剰余金	646,937
純資産合計	4,026,744

2.3. 監事コメント

- 帳簿、預金通帳、証憑チェックの結果会計が適正に運営されていることを確認しました
- イベント時の会計(証憑の残し方)処理方法がそろっていないので簡易な原則をつくっておいたほうがいいと思います。
- ネットバンキングを利用したらいいのでは？

2.4. 利益処分案

- 全額(646,937円)を翌期(2014年度)に繰り越します。

議題3 2014年度計画

1. 活動

1.1. イベント

■ 主催

- FOSS4G Hokkaido
 - 日時: 2014/6/27(金), 28(土), 29(日)の3日間
 - 場所: 北海道大学(札幌キャンパス)
 - <https://sites.google.com/site/foss4ghokkaido/home>
 - 今年から主催に格上げ、運営は北海道の有志が行う
 - 講師3名の負担を希望
 - 林さん
 - 地理院
 - GUNMA GIS GEEK
- FOSS4G Tokyo/Osaka
 - Osaka
 - 10/26(コアデイ@グランフロント大阪)
 - 10/27(ハンズオンデイ)
 - 101、103、104、108の4教室を確保しています。(16時半～21時)
 - 10/28(ハンズオン: フィールドワーク)
 - Tokyo
 - 10/31(ハンズオン: 柏キャンパス)
 - 11/1-2(コアデイ: 駒場リサーチキャンパス)
- OFF4G
 - 年末の忘年会
- QGIS meeting
 - 嘉山さん、飯田さん主催の勉強会
 - 翻訳、カスタマイズのアイデアソン & 講演
 - 7/5で調整中
 -

■ 後援・協賛・出展

- FOSS4G PDX 2014
 - 2014/9/8～13
 - 森さん、古橋さんが出席予定
 - GeorepublicよりDanielも参加予定
- FOSS4G Seoul 2015 (Korea)
 - 今年も引き続き交流を続ける
 - FOSS4G 2015は韓国(ソウル)の可能性大とのこと。
 - 協賛内容の確定(援助、サポート追加、ブース)を早

めにFIXさせる必要がある

- QGIS、GeoServer以外のコミュニティサポーターがいない可能性がある

- FOSS4G Asia (バンコク)

- 2014/11/29～12/1 or 12/2
- <http://www.foss4g-asia.org/2014/>
- 会場はアジア工科大学周辺(治安は比較的良い?)
 - バンコクの中心街からは結構離れてる。北の方。
- JPとしてのサポート・派遣が必要?
 - OSGeo.jpはスポンサーとして費用的な支援を行う方向
- アジアカンファレンスは毎年継続される予定

- OSC(展示/セミナー)

- OSC沖縄
 - 5月24日(土)
 - <http://www.ospn.jp/osc2014-okinawa/>
 - 林さんが講演 & 出展
- OSC北海道
 - 6月13日(金)～14日(土)
 - <http://www.ospn.jp/osc2014-do/>
 - 朝日さんが講演 & 出展
- OSC名古屋→5/16締め切り
 - 7月4日(金)～5日(土)
 - <http://www.ospn.jp/osc2014-nagoya/>
 - 田村さん、岩崎さんが出展(5日のみ)
- OSC京都 →6/9締め切り
 - 8月1日(金)～2日(土)
 - <http://www.ospn.jp/osc2014-kyoto/>
 - 講演 & 出展できる方募集中
- OSC島根→8/1締め切り
 - 8月23日(土)
 - <http://www.ospn.jp/osc2014-shimane/>
 - ※地域スタッフ主導開催。企業出展無料。セミナー15分。展示あり。他特典無し。
 - 講演 & 出展できる方募集中
- OSCエンタープライズ大阪
 - 9月5日(金)
 - <http://www.ospn.jp/osc2014.enterprise-osaka/>
- OSC広島
 - 9月20日(土)
 - <http://www.ospn.jp/osc2014-hiroshima/>
- OSC東京
 - 10月の土日開催が濃厚

- 会場は明星大学
- OSC福岡
 - 11月14(金)～15(土)
 - 金曜日はセミナー1トラックのみ
 - ウェブサイトは後日公開
- OSCエンタープライズ東京
 - 12月12日(金)で検討中
- K-OF
 - 11月7日(金),8日(土)
 - <https://k-of.jp/2013/>
- G空間EXPO2014
 - 11月13～15日@日本科学未来館(東京・お台場)
 - <http://www.g-expo.jp>
 - 電子国土賞の推薦団体
 - ジオアクティビティフェスタへの出展?
- その他
 - 学会などへの参加
 - GIS学会
 - 11/7-8@中部大学
 - 前日ハンズオンはやらない
 - 集会テーマを運営委員会で継続検討
 - 生態学会
 - 今年度は鹿児島
 - 来年度は宮城
 - 宮城の某鉄人を誘って何かやりたい
 - QGISハンズオン

1.2. 広報・普及活動

- その他団体へのハンズオン講師派遣について
 - 今年度に入り講演依頼が2件
 - 金沢
 - 石川県工業試験場主催勉強会の講師
 - 開催は6月13日と回答中
 - 林さんが担当者と調整中
 - 林さんと谷内さんが参加
 - 謝金&旅費が1名分で
 - 長野
 - NPO法人長野県GIS協会主催セミナー
 - 初級編は長野県GIS協会で開催経験がある
 - GIS学会の教育認定を受けている
 - OSGeo.JPの会員企業で開いている講習と内容とかぶる可能性がある

- 業界全体は青天井だからどんどんやって活性化させることをまず考えてもいいんじゃないか?(森さん)
 - とりあえず森さんからヒアリングした上で誰かは派遣する。
- ルールは決めといた方がいい
 - 謝金は担当した個人に支払う
 - 講習内容は初級編を基本とする
 - 講習内容に対して、内容の吟味は担当者がする?
 - 初級編ならこの内容は最低限押さえておく、というようなものはそのうち必要になるかな?
 - その時に参照すべきはQGISならオンラインマニュアル?(清野)
 - 規模が大きく予算も計上できる場合は会員企業などを紹介する
 - HPなどを活用した広報活動
 - 現状告知に漏れがある状態→きちんと告知して行きたい
 - Wordpressを使うか? GitHubに移行するか?
 - OSGeo系はGitHubが主流になりつつある
 - WikiがあるからWikiでもいいんじゃないかな?編集スキルもそんなにいらないし。WordPressの方がもっとスキルはいらないと思うけど。(清野)
 - 管理リソースが現状でもかかっている、アカウント管理が必要な上にだれでもかけるのはよろしくないのでは?
 - 無駄なアカウント登録は今回の松浦さんの改修によってできなくなった。(清野)
 - ただ、先のような議論があることは十分わかるので今までどおり、フロントエンドとしてのWordPressとドキュメントアーカイブとしてのWikiはいい体制だったと思う。
 - 特定の技術が必要な更新体制は避けた方がいい
 - お金を払ってアウトソーシングしてもいいと思う
 - どちらにしろ仕様を固める必要があるので早急に対応
 - 広告費の運用
 - イベントの告知など効果的に行いたい
 - GIS NEXTのメルマガに加えその他の媒体に広報をしていく
 - Webページのアウトソーシングも広報費に含める
 - パンフレット類の作成
 - 団体会員勧誘用資料は作ったので、デザイナーの方にそれをブラッシュアップしてもらおう?(清野)
 - 北海道地図さんの中のデザイナーさんいかがでしょうか?(無理?)あるいは早坂さん?(清野)

- 絵は描けますがwordpressのテンプレとかは無理かも
(勝部)←紙資料の話でした。すみません(清野)

- 広報については、Web、紙媒体、その他サービスについてどのような
めるかの内部組織を作って案を固める→運営委員会での承諾を行う

1.3. 組織の改正

■ 内部組織

- 運営委員会ではカバーできない活動を内部組織でカバー

○ 構成案

- 事務局 大橋さん
- 技術委員 朝日さん、山手さん(嘉山さんはフェロー！)
- イベント・渉外
- 広報
 - HP(松浦さん&松澤さん)

- 運営委員会で議論

■ 若手への継承

- 運営を若い人に継承して世代交代を進めたい(50歳は引退！)

2. 予算案

2.1. 収入案

項目	金額	備考
会費	1,500,000	団体会員3口4社、1口7社個人会員70名程度として
物品販売	200,000	昨年並みを想定
ハンズオン・講習会	150,000	昨年並みを想定
収入合計	1,850,000	

2.2. 支出案

イベント関連費	900,000	昨年より15万円増加(FOSS4G北海道、FOSS4GAsiaなど)
旅費交通費	400,000	昨年より10万円増加(Koreaへの派遣、勉強会などへの講師派遣など)
事務局費	24,000	規定通り
活動支援費	300,000	12,000円×25名分
広報費	200,000	Web、広告など

通信費その他	30,000	昨年より1万円減少
支出合計	1,854,000	

2.3. 収支案

- 4,000円の赤字(実質トントン;繰り越し無し)
- GMOのConoHaはOSS活動向けにコミュニティサポートとして無償で提供している(松澤)
 - さくらインターネットもサポートしているそうなので、先にさくらインターネットに声をかける

議決

本日の議案について全て承認されました